

# 合格体験記

神戸大学医学部医学科

坂本 みなみ

はじめまして。今、これを読んでいる皆様の中には目標が定まらず淡々と勉強をしている人、部活と勉強との両立に悩んでいる人、やる気が起きない人、一年後の受験を前に焦っている人など様々な立場の人がいると思います。拙い文章ですが、この合格体験記ができるだけ多くの人の支えになることを願っています。

今後皆さんが受験勉強をしていく上でたくさん壁にぶつかると思います。そんな時に私がそばに居たら伝えたいと思う3つの事について述べたいと思います。1つ目は目標を設定する事の大切さ、2つ目は勉強と部活（課外活動）の両立をしてよかったこと、3つ目は努力は必ず報われる、常に前向きに！ということです。

私は中学生のころから医学に興味を持ち始め、高校1年生の時に、医師になりたいという気持ちが確実であることを確認して志望校を決定しました。これは早い時期から受験勉強に取り組む上でとても大切なことであったと思います。もし将来の夢がまだ定まらずに迷っている人がいるなら、様々な職業のことを調べた上で、一度自分と向き合って考える時間を持ってみてください。私は一度自分の進路についてじっくり考えた時に、他の職業と比較してもやはり医師になりたいという思いが強いことを確認したので、迷わず目標に向かって進むことが出来ました。そして目標は具体的になればなるほど、モチベーションが上がり、やる気が出ます。私も積極的に先輩から話を聞く、実際にオープンキャンパスに行くなどしてビジョンをしっかりと持って1年間頑張ることができました。『目標の設定→目標の具体化⇒勉強の効率アップ』という流れはとっても大事なので、自分と向き合う時間をまずとってみてください。悩む課程で必ず何か見えてくるとと思います。

皆さんの中で、今部活と勉強の両立をすることを迷っている人も少なくないでしょう。実は私も部活動ではありませんが、課外活動として新体操とバレエを高校3年生の5月まで続けていました。課外活動とはいっても練習は毎日欠かさずであり、テスト期間中に大会があるといったような厳しいものでした。今となっては心から続けて良かったと言えますが、受験に向けて周囲の友人が次々と部活動をやめていった時は、このまま続けていいのかという気持ちが次第に強くなり、不安と焦りとの葛藤の日々が続きました。しかし、一度やり通すといった信念を貫きたいという気持ちと、これを乗り越えることが今後の自分の人生の自信へとつながると母の言葉もあり、時折不安に涙を流しながらも最後まで全力で取り組むことが出来ました。実際今振り返ってみると私の場合この辛い時期があったからこそ、質の高い効率的な勉強をすることが出来るようになり、1年間途切れることのなかった忍耐力と集中力も身に付いたと確信しています。また、なにより勉強、新体操、バレエの3つを全て全力で取り組み、辛い時期を乗り越えることができたことは、私の人

生において大きな自信、そして糧になったと思います。一概に部活と勉強を両立しろとは言いません。ただ、私の場合は両立をしたからこそ合格できたし、高校生でしかできない貴重な体験をすることができたと言えそうです。そして自分の努力次第で私のように皆さんも両立して合格を掴み取れることは可能だと思っています。

最後に、努力は必ず報われます。これは努力をして合格できた私が言うのですから皆さん信じてください。受験勉強をしていく中で、逃げたくなったり、成績が伸びなくてどうしようもなく焦ったり、自分は努力しているのに結果がついてこなくて落ち込んだり、乗り越えないといけない壁はたくさんあると思います。しかし、自分の努力は決して自分を裏切りません。自分のやり方が悪いのではないかと考える努力が足りないのかもしれませんが、落ち込むのではなく常に前を向いて努力を惜しまないでください。あなたならきっと大丈夫です。

今まで長々といろいろなことを述べてきましたが、これらは全て私も悩み、苦しんできたことです。その中で様々な壁を乗り越えられたのは私1人の力ではなく、先生方、友人、家族の支えがあったからです。皆さんに伝えたいこと3つと言いましたが、もう一つありました。それは周囲の人は必ずあなたの支えになってくれるということです。先生方はあなたの支えになりたいと思っています。友人も共に切磋琢磨し、心の支えとなるでしょう。私を始め、合格した先輩も皆さんが助けを求めれば必ず応えてくれます。そして、私にとって家族は特に大きな支えでした。家族の支えがなければ合格できなかったと言っても過言ではないと思います。合格を手にした時、あなたも改めて感じるはずですよ。周囲の人の支えの大きさ、そしてありがたさを。

私も最後にこの場を借りて感謝の気持ちを述べたいと思います。これまで私を支えてくださった先生方、友人、家族、皆さん、すべての人へ、心から感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

### 中学時代の勉強法について

理科・社会に関しては苦手意識を感じないように学校のテストで良い点数をとれる程度勉強していました。特に、数学と英語は中1の頃から力を入れて勉強していた記憶があります。英語は中2で英検2級を取得しました。理系の人にとって数学と英語はとても大切な科目なので決して苦手科目とならないように中学から手を抜かないで頑張った方が良いでしょう。

### やっていた良かったこと

やはり受験勉強を早くから(高1)始めたことです。受験勉強といってもまずは知識を入れること(input)です。良い参考書を何度も読んで理解し、覚えるものは地道に覚えしました。それがしっかりできてから演習(output)が効率よくできます。よく高3になって基礎固めもしないで色々な問題集に手をつけて失敗する人が多いですが、いくら焦っていて

も参考書などをじっくり読んで input することが大切です。

### 私なりの暗記法

単語などの単発のものはひたすら声に出して覚えました。英単語は覚えていようがいまいが単語帳をみながらCDについて発音していました。これを4周くらいくり返せば自然と覚えられます。助動詞などは『富井の古典文法を始めからていねいに』の怪しげなCDの歌で全て覚え、古典単語も『ゴロゴ手帳』でゴロ合わせで覚えました。生物など複雑なものは、ぶつぶつしゃべりながら大ざっぱに絵を描いていたと思います。人それぞれ暗記法は違うので一例として参考にしてください。

### 反省点

得意な英語を高3であまり勉強していなかったから成績が落ちて、後半でかなり焦ることになりました。バランスよく勉強することが大切だと思います。また時間がなかったこともあります。もっと早くから演習をしていれば高3でこれまで膨大な量をせずすんだかなと思います。

### センター試験対策について

#### 【国語】

現代文が苦手だったので古典・漢文だけは満点をとろうという気持ちで古典文法・助動詞・単語・句法を高1から地道に暗記していました。現代文も高1の時から参考書を読んで、センスではない論理的な解法を身に付けていました。夏休みに過去問を3年分ほど解き、12月からセンター前日まで過去問や予想問題を毎日1年分解くようにしていました。

#### 【倫理】

倫理も暗記が中心だったので高2の後半から対策を始め、国語同様12月から過去問などを毎日解いていました。

#### 【生物】

センター生物は考察問題に慣れておかないと解けないので12月中旬から過去問などを毎日解いていました。

#### 【化学・英語・数学】

二次対策をしていればセンターもカバーできるので（ただしセンターレベルを完璧にしてから二次対策をしている人に限ってですが…）センター直前に3年分ほど過去問を解いただけでした。しかしセンター数学は時間を短めにしてテスト感覚で解くことを多くやった方が良くと思います。慣れが必要なので。

#### 【センター全般】

センターといっても決してバカにはできません。特に理系の人にとっては国語の点数によって進路が変わるといっても良いほど国語は大きな位置を占めます。苦手な人は早めに

対策をとりましょう。また難関大を受ける人にとってはやはり二次試験の方が比重が大きいです。なので、センター直前までは二次対策もそれなりに続けた方が良いと思います。私もセンターの一週間前までは【センター：二次】が【6：4】ぐらいの割合で勉強していました。

#### 最後に

色々書いてきましたが、これらは全て私がやってきたことということだけであり、決して完璧なものではありません。また難関大医学部を受ける人以外にはあまり参考にならないかもしれません。しかし、これだけやれば合格できるんだなというなんとなくの流れでもつかんでいただけたら幸いです。受ける大学によって勉強法も変わってくるので合格した先輩に聞いてみるのが一番だと思います。こんな私で良いのならいつでも相談にのるので連絡してくれて大丈夫です。連絡先は額田先生に聞いて下さい。

大学合格まで気を抜かずに頑張ってください！！